

令和5年度 東京都立神津高等学校 学校運営連絡協議会報告書

1 組織

- (1) 都立神津高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成、副校長、教務主任 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任 計6名
- (4) 協議委員の構成
PTA会長、神津島村教育委員会教育長、神津島村立中学校長、神津島村立小学校長、
神津島村漁業協同組合長、神津島南駐在所所長 神津高等学校同窓会会長
神津島村教育委員、しらすな寮長、計9名
- (5) 評価委員の構成
校長 副校長、PTA会長、神津島村立中学校長 計4名

2 令和5年度学校運営連絡協議会（以下、協議会）の概要

- (1) 協議会の開催日時及び内容
第1回 6月23日（金） 午後4時00分～午後5時00分 内部委員6名、協議委員7名
協議委員及び評価委員の委嘱、委員紹介、令和4年度学校経営報告計画及び令和5年度学校
経営計画説明、学校の現状・課題及び指導の方針説明、協議等
第2回 11月21日（火） 午後4時00分～午後5時00分 内部委員6名、協議委員7名
今年度の指導経過と現状について報告、学校評価アンケートの観点・項目・内容の検討、協
議等
第3回 2月3日（土） 午後4時00分～午後5時00分 内部委員6名、協議委員8名
今年度の指導の成果について報告、学校評価アンケート集計結果の分析・考察・提言、協議等
- (2) 評価委員会実施日時及び内容
第1回 11月21日（金） 午後3時10分から午後3時30分 内部委員2名、協議委員2名
学校評価の観点及びアンケート質問の検討、評価者の検討等
第2回 2月3日（土） 午後3時30分～午後3時50分 内部委員2名、協議委員2名
アンケート結果の分析、評価報告書の作成等

3 学校運営連絡協議会による学校評価

- (1) 学校評価の観点
生徒・保護者（一部地域の皆様）に対して
①学校生活全般に対する満足度 ②HR、授業に対する満足度 ③生活習慣、生活指導、部活動
に対する意識・満足度 ④進路や検定に関する満足度 ⑤環境に関する満足度 の観点で実
施する。
地域の皆様に対して
①学校生活全般 ②情報発信 ③地域との連携 ④生徒の規範意識 の観点で実施する
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模：
・12月 全校生徒 対象： 46人 回収： 46人 回収率：100%
・12月 保護者全員 対象： 46人 回収： 46人 回収率：100%
・12月 地域・住民 対象： 77人 回収： 62人 回収率： 81%
・12月 教員 対象： 19人 回収： 19人 回収率：100%
※地域・住民には「地域の方々」「中3保護者」「中学校教員」を含む
- (3) 評価結果の概要・分析・考察・課題
①本校の教育活動におおむね満足しているが、特別活動などに課題がある。
詳細は別紙参照

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ① 地域代表及び教育関係者から意見を伺うことで、また広く地域に学校評価アンケートを実施することで、本校が外部からどのように認識・評価されているかを客観的に把握できた。
- ② 授業公開や公開行事、学校広報だけでは伝わらない、本校が目指す教育活動の方向性や現状に対する課題意識などを外部に向けて発信できた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ① 学習に対し積極的に取り組んでいるという自信について課題がある。
- ② 行事や部活動など特別活動の充実に課題がある。
- ③ 生徒と保護者のコミュニケーションに課題がある。
- ④ ボランティア活動の個人参加に課題がある。
- ⑤ 生徒・保護者・教員の間での、希望進路に対する認識のすり合わせに課題がある。
- ⑥ 生徒の読書量に課題がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ① 地域や保護者と意見交換・情報交換する機会を増やす。特に、教育関係者以外と意見交換・情報交換できるような機会を模索する。
- ② 本校の教育活動を発信する機会を増やす。特に、授業公開など本校の様子がよく分かる活動について、周知・広報を充実させる。
- ③ 学校評価アンケートを改善する。特に、各設問に「そう思わない」と回答した場合、「どこについてそう思わないのか」を追加で質問する。

(2) 学習指導

- ① 家庭学習の指導を組織的・計画的に行い、個別最適な家庭学習を実現する。
- ② ICTの活用をさらに推進し、個別最適な学習活動を実現する。
- ③ 教員間の相互授業見学や小中学校の授業見学など、授業改善の機会を増やす。
- ④ 校内研修を充実させ、授業の魅力向上を図る。

(3) 特別活動

- ① 地域と連携した部活動を推進し、大会参加など活動の充実を図る。
- ② 文化祭などの行事において地域と連携し、内容の充実を図る。

(4) 生活指導

- ① 基本的な生活習慣や規範意識を定着させるため、家庭と連携して粘り強く指導する。
- ② 校則を守ること、また校則のあり方について、生徒が主体的に考える機会を設ける。

(5) 進路指導

- ① 三者面談・四者面談を充実させることで、生徒の進路意識を醸成するとともに、生徒と保護者の希望進路をすり合わせて生徒が学習に集中できるようにする。
- ② 学校設定教科「進路実現」の計画・実施・振り返りを共有し、内容の充実を図る。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9名

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数 8人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
7	1					1

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

参加実績 ・職員会議 0回 ・企画調整会議 0回

8 その他

- ① 地域・住民の評価アンケートのうち、中学生保護者の回答が極端に少なかった。次年度は繰り返し声を掛けて、積極的に収集する。